

# 上田記念財団の奨学金

令和3年4月

大学 奨学金担当様 控

日程・選考  
募集要項  
記入要領  
願書(書式)  
推薦書様式  
作文様式  
提出書類チェックリスト

一般財団法人上田記念財団事務局

## 募集の日程、選考について

当財団としましては、以下のような選考手順を推奨しますが、各大学において決められた別の方法による場合はそちらを尊重します。

1. 上田記念財団奨学生募集の学内周知
2. 応募希望者は、学務課奨学金担当に問い合わせ、願書、作文様式、を取得
3. 応募希望者は、期日までに上記書式及び成績証明書を添えて学務課に提出
4. 学務課において、基準に達している学生を候補者として奨学金決裁機関に上程
5. 推薦学生を決定
6. 財団送付【締め切りは4月30日(金)必着】

	期日	摘要
大 学	2月下旬	上記 1.
	3月中旬	// 2.
	3月末日締め切り	// 3.
	4月上旬	// 4.
	4月23日(金)	// 5.
	<b>4月26日(月) 財団に送付</b>	
財 団	5月上旬	財団における選考
	5月中旬	決定通知
	...	...
	6月中旬	第1回振込

大学ごとに定員を設定して募集していますので、基本的には大学の選考結果を尊重します。ただし、財団の選考を下記の基準で行います。

### 財団の選考(負の基準)

1. 土木工学系の学科に興味を感じられず、専門科目で成績が振るわないもの
2. 全体に成績が不振であり、専門以外の科目が不振であるもの
3. 経済的な支援が必要であることが明らかでないもの
4. 経済的支援の理由が、漠然としていて、合理的でないもの
5. 土木工学を学ぼうとする気概が伝わらないもの
6. 将来において土木で学んだことを生かそうとする意欲が伝わらないもの

令和3年4月度  
上田記念財団 第12期大学学部・大学院修士課程奨学生 募集要項

1. 奨学金支給の趣旨

当財団は、大学において土木工学を学び、自然公物の管理や社会基盤である資産の建設などに関わり、人の生活や生命を守ることにより社会貢献しようと志す学生を支援します。

2. 当財団奨学金について

- 1) 奨学金は給付とします。原則として返金を求めることはありません。
- 2) 当財団の奨学金の併給はできませんが、他団体等の奨学金との併給は問いません。

3. 応募資格(令和3年4月1日現在)

- 1) 土木工学系の学部3年生または大学院修士課程1年生に進学する者であること
- 2) 応募時の年齢が以下の範囲であること

①大学学部3年生は年齢23歳未満の者

②大学院修士課程1年生は年齢25歳未満の者

4. 募集する奨学生の審査要件

- 1) 将来、土木工学を活かした職業に就職する意志を持つ者であること。  
(建設関係企業など。研究職や教職・公務員を含む)
- 2) 人物、学力ともに優れ、かつ健康であって、当財団の奨学生としてふさわしいと認められる者
- 3) 経済的な援助を必要とする理由があること

5. 奨学金額および支給期間

- 1) 金額 月額5万円
- 2) 支給日 3か月分ずつを毎指定月の15日に本人名義の口座に振り込みます。
- 3) 支給期間 原則として2年間としますが、退学・卒業などにより変動します。  
学部生で奨学生であったものが修士課程進学時に再度奨学生として応募することも可能です。

6. 応募方法

- 1) 大学経由での応募となります。必ず大学への提出期限を確認してください。
- 2) 財団への提出期限は令和3年4月30日(金)となります。
- 3) 提出書類 願書(写真要) ※願書は自署としてください。  
大学学長または学部長または土木系研究科専攻長の推薦書  
成績証明書等履修結果・成績を証明するもの。  
作文800字以内(テーマ指定)

7. 募集人員 原則※として1大学で、学部生1名及び修士生1名の計2名とします。

8. 選考結果については、5月中旬に大学を通じて通知します。

9. その他

- 1) 応募書類は返却しません。当財団の規則により個人情報として適切に扱います。
- 2) 財団の活動に協力してもらう場合があります。
- 3) 奨学生の就職先等進路の自由を制約するものではありません。
- 4) 在学証明書など所定の届出をしてもらいます。

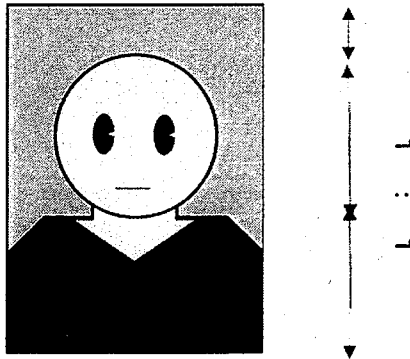
## 願書記入要領(大学生)

### 【筆記具】

黒のボールペンで自署で記入する。

### 【顔写真について】

正面から撮影、鮮明なもの。白黒、カラーを問わない。帽子は被らない。  
撮影2か月以内。  
横3.5センチ縦4.5センチに切って貼り付ける。  
上部を少し開ける 顔と体の比は、1:1ぐらい。(下の図を参照)



【記入上の注意】 ※願書左端の小数字の順に説明しています

- 1 願書の作成日付。
- 2 ひらがなで氏名の読み方を記入。男女いずれかをはチェックする。
- 3 氏名を書く。
- 4 和暦で。記載日の年齢。
- 5、6 願書記入日現在の郵便番号、住所を記入
- 7 携帯電話など、普段連絡できる電話番号。研究室の電話の場合は、研究室と記入。
- 8、9 下宿や寮、学校付近のアパートの場合、帰省先を記入。自宅通学の場合は(5、6)と同じ
- 10 帰省先(親家など)の電話番号を記入。
- 11 学校名から学部学科、大学院研究科、専攻、および学年を記入。
- 12 高等学校を記入する。
- 13 大学、学部等を記入する。学部生の場合は卒業見込み年月を記入する。
- 14 学部生は空欄。修士課程の学生が記入する。卒業は見込み年月を記入。
- 15～21 2親等以内の者を記入する。父母→兄弟姉妹、祖父母(、子、配偶者)  
主たる生計者(記入者の家計を支えている者)に丸印を付す。  
父母以外が主たる生計者の場合は3親等以上(例えば叔父叔母など)でも記入する。  
年収は、令和2年分(令和2年1月～令和2年12月)について記入する。
- 22～24 記入者の生活について、一般的な月の主な収入と支出を記入する。  
奨学金の受給については、返済可否を記入すること。
- 25 当奨学金を受給したい理由を簡潔に記載すること。箇条書きでもよい。
- 26 希望進路をチェックする。下段に進路について考えていることを記載。
- 27 当財団奨学金を受給していた場合は記入。ない場合はチェックのみ。
- 28 普段の健康度の状態を申告する。
- 29 氏名を自署し、押印する。

# 令和3年4月度 上田記念財団第12期奨学生 願書

1	願書記入日	令和 年 月 日				以下、自署すること
2	ふりがな					□男 □女
3	申請者の氏名					
4	生年月日	平成 年 月 日 (満 才)				顔写真貼付 3.5cm×4.5cm カラー 正面無帽 鮮明なもの
5	現在の住所	郵便番号	-			
6						
7	連絡先電話番号	- -				
8	帰省先の住所	郵便番号	-			
9						
10	帰省先電話番号	- -				
11	所属大学/学部・大学院/専攻・学年					
	学歴記入	卒業年月	学校名( ~県立etc から記載)			
12	学歴① 高校	.				
13	学歴② 大学	.				
14	学歴③/	.				
	家族欄/続柄 生計主に○	年齢	氏名	年収(万円)	同・別居	職業
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
	申請者の生活費	主な収入			主な支出	
22	生活費の状況 (月額)	家族の送金	円	家賃	円	
23		他の奨学金	円	通学費	円	
24		アルバイト、他	円	他(	円	
25	経済的支援を必要とする理由					
26	今後の進路予定 (チェック)と抱負(下段に記入)	<input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> コンサルタント <input type="checkbox"/> 道路会社 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 他( )				
27	過去の上田記念財団の奨学金の受給の有無について	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有( 年 月から カ月)				
28	健康面の申告	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> その他( )				
29	一般財団法人 上田記念財団 理事長殿 上記相違ありません	(自署) 氏名			印	

## 推薦書

一般財団法人上田記念財団理事長殿

1	所属大学学部/ 大学院	
2	専攻科・学年	
3	氏名	
4	生年月日	
5	卒業または修了 予定年月	

6	推薦の理由 ①成績・ 学習意欲	

7	推薦の理由 ②人物その他特 記すべき事項	

標記学生は、学業成績が優秀であり、土木技術者または土木研究者としての将来性は十分であります。財団の求める奨学生としてふさわしいと認められるのでここに推薦します。

令和 年 月 日

所属役職名

氏名

印

「テーマを記載」

修士または学部〇年生 氏名

この書式で以下を削除して使用してください。  
書式で20×20の2枚以内とします。

なお、テーマは次から選んでください。

A. 私が考える土木工学の役割

B. 土木工学の知見について感動したこと

ワードの

「ページレイアウト」→「原稿用紙設定」から  
適宜作成し、プリントアウトしたものを提出  
してください。